

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 森林空間活用促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林活用推進課 森林サービス産業支援係 電話番号：058-272-1111(内3031)

E-mail : c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,300千円 (前年度予算額： 2,578千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	2,578	0	0	0	0	0	2,578	0
要求額	2,300	0	0	0	0	0	2,300	0
決定額	2,300	0	0	0	0	0	2,300	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

自然を活かした野外活動等への注目が集まっているが、山村地域ではニーズに対応できる施設や体験メニューが不十分など、収益を生む構造にない。

森林空間を多様な分野で活用することで、山村地域に新たな雇用と収入機会を生み出す森林サービス産業の育成に取り組む必要がある。

(2) 事業内容

県普及促進費

県内の森林空間活用を促進するため、県内の実態調査や県外の先進事例調査、森林サービス産業を普及するためのセミナーを開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

第4期森林づくり基本計画に基づく事業であり、森林サービス産業を育成するため県が実施することは妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	120	セミナー講師謝礼
旅費	634	講師の費用弁償：114 業務旅費：520
需用費	160	消耗品費：143 燃料費：16 会議費：1
役務費	46	保険料：8 通知運搬費：38
委託料	1,055	セミナー業務委託
使用料	245	会場借上料
負担金	40	視察負担金
合計	2,300	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

第3 森林の新たな価値の創造と山村地域の振興

1 森林空間等を活用した森林サービス産業の育成による山村振興

(2) 国・他県の状況

国：森林サービス産業（健康経営分野）モデル事業を実施

（R3年度：7地域支援、R4年度：5地域支援）

(3) 後年度の財政負担

第3期清流の国ぎふ森林・環境税の課税期間である令和8年度まで、税収に応じ事業を実施。

(4) 事業主体及びその妥当性

森林空間の活用促進により山村振興を目指すものであり、県が実施すべきものである。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県における森林サービス産業を育成するため推進体制であるぎふ森のある暮らし推進協議会の会員数を増加させる。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
① (仮称) 森林サービス産業推進協議会会員数(累計)	0	142	152	70	100	152%

○指標を設定することができない場合の理由

（記入欄）

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	・ぎふ森のある暮らし推進協議会を設立するため有識者による設立準備委員会を3回開催するとともに、森林サービス産業を普及するためのセミナーを開催。
	指標① 目標：60 実績：142 達成率：237%
令和5年度	・森林サービス産業の育成・普及するためのセミナーを開催。
	指標① 目標：70 実績：152 達成率：217%
令和6年度	・森林サービス産業の育成・普及するためのセミナーを開催。
	指標① 目標：80 実績：160 達成率：200%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	ライフスタイルの変化により、多様な体験や暮らし方が求められており、森林空間の活用に対するニーズが高まっている。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	森林サービス産業を実施している、またはこれから実施しようとする多くの事業者等がぎふ森のある暮らし推進協議会の会員となっている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	セミナー等の開催により、効率的に森林サービス産業の普及を行うことができる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

ライフスタイルの変化により、多様な体験や暮らし方が求められており、自然を生かした活動等に注目が集まるも、山村地域では第一次産業を中心に産業の停滞や若者の流出が続いている、都市部のニーズに対応できる施設や体験メニュー等を持たず、収益を生む構造が構築されていない。森林空間等の活用により、山村地域に新たな雇用と収入機会を生み出す森林サービス産業の振興が必要。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

第4期岐阜県森林づくり基本計画の目標である「ぎふ森のある暮らし推進協議会会員数」の達成のため継続して取り組む。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	